有明高専だより

第146号
2015.6

正門の桜

友夢創家南側のハナミズキ

図書館西側のつつじ

E科棟とA科棟中庭の藤

目次

校長だより …… 2
入学式・入寮式／新入留学生紹介／留学生歓迎会 …… 3
新任教職員紹介／人事交流教員紹介 …… 4・5
特集　学生の活躍 …… 6・7
4年生研修旅行 …… 8・9
新入生阿蘇研修 …… 10
2年生研修旅行 …… 11
岱明寮だより …… 12
新入生歓迎行事／防災避難訓練／授業参観 …… 13
春季球技大会／平成26年度 卒業式・修了式 …… 14
卒業生の進路／学生表彰 …… 15
トピックス／編集後記 …… 16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。
（数字：学年、但し、6・7は専攻科1・2年。M：機械工学科、E：電気工学科、I：電子情報工学科、C：物質工学科、A：建築学科、但し、2年生は学年 - 組）

校長だより

福島 健郎

これからの技術者に必要な資質とは

工学教育に関し、最近興味深い記事を目にしたので、紹介します。それは、日経BP社発行の月刊誌「日経ものづくり」4月号に掲載された「こんな工学部は不要」と題した特集記事です。その中に製造業関係者へのアンケート調査の結果が載っていますが、「企業の技術者を養成するという点で、工学部などの理系教育に対して不満がありますか」という質問に対して、「不満がある」という回答は63%に達したこと、不満の原因の第1位は「問題や新しい仕事を自ら見つけ出し、解決する能力の養成が不十分」、第2位は「実技・実習の経験が少ない」という結果だったことが紹介されています。

このアンケートは、主に大学工学部卒業生を念頭に置いて回答したものであり、高専卒業生に対する評価は全く違ったものになったと思われます。高専卒業生は実技・実習経験が豊富であり、問題解決能力も相当程度育っているからです。したがって、工学部卒業生に対する不満は、逆に高専卒業生に対する評価につながるものであり、皆さんは、高専で学んでいることに自信を持っていいと思います。

しかし、この記事の中に載っていたデンソー技術開発センターの手繰さんのコメント、今の若手技術者は「知識はあるし優秀だが、根本に立ち返って考えるのが苦手。蓄えた知識の中で応用問題を解くはできても、イノベーションに必要な物事の根本をとことん考える力が弱い」という話は、高専生にとっても重要な指摘だろうと思います。よく企業の人から「専門知識は企業に入ってからいくらでも深めることができる。したがって、高専にいる間に、科学技術の基本的な原理をしっかりと学んでほしい」という趣旨の話を聞くことがありますが、この話も手繰さんのコメントと通じるものがあります。

私は4月の始業式で、将来予測を基に、世界はこれから「アジアの時代」になるが、日本はこのまま低成長が続くと、経済大国の地位を失ってしまうこと、日本の企業がもっとグローバルに展開し、アジアやアフリカの成長を取り込むことができれば、現在の地位を維持できること、皆さんはグローバルに活躍する技術者になって、それに貢献してほしいといった趣旨の話をしました。また、インターネットの普及等によるグローバリゼーションは技術革新のスピードを速め、企業も絶えず新たなイノベーションを起こしていかなければ生き残れない時代になっていること、皆さんには、そのような時代を生き抜いていける、進取創造の精神に満ちたタフな技術者になってほしいという話をしました。

皆さんが、以上述べてきたような社会から期待される技術者、新しい時代を生き抜いていける技術者になるためには、技術者としての基礎基本と語学力を含めたグローバルな教養をしっかりと身に付け、その上で、高専教育の特長であり、社会からも高く評価されている、実験・実習を重視した実践教育を通して、考える力や問題解決能力を習得していくことが重要です。有明高専も、そのような技術者をより良く育成できるよう、更に努力していきたいと思っています。

入学式・入寮式

4月7日(火)

4月7日（火）、10時から第一体育館において第53回入学式、第15回専攻科入学式が挙行されました。新入生207名、4年次編入学生11名、3年次編入留学生2名、計220名および32名の専攻科生の入学が許可されました。入学生代表の宣誓を機械工学科の古賀勇気さん、専攻科生代表の宣誓を建築学専攻の立野文さんが行いました。12時10分から行われた入寮式では78名の新入生の入寮が許可されました。

新入生の皆さんのこれからの学校生活が充実したものになることを期待しています。

入学式

入学式

入学生総代宣誓

入寮式

新入留学生紹介

3C アシカン（モクタール アシカン）

私はイランから来たアシカンです。物質工学科の３年生です。

イランについて紹介します。イランはアジアの中東にあります。言語はペルシア語です。99%のイラン人の宗教はイスラム教です。面積は1,648,195㎢で、人口は7,700万人です。季節が4つあります。広い国で、いろいろな所（山と森と海と砂漠）があります。一番寒い所は冬になると−16度になります。また世界の一番暑い所もイランのルート砂漠で、夏には71度になることがあります。

日本に留学できて嬉しいです。日本語で勉強するのは大変ですが頑張りたいです。有明高専の皆さんと仲良くして、たくさん友達がつくりたいです。これから、よろしくお願いします。

3A ラダ（ヨスチャンラダ）

私はカンボジアのラダと言います。カンボジアと言えば、やはり皆さんは世界遺産のアンコールワットを思い出すのでしょうね。カンボジアは東南アジアにあり、タイとベトナムとラオスに囲まれます。首都はプノムペン（PHNOM PENH）です。カンボジアの面積は181,035㎢で、日本の2分の1ぐらいです。人口は約1,500万人です。日本の約8分の1です。仏教を信じるカンボジア人は約90%います。カンボジアの言葉はクメル語です。

最近アンコールワットで、カンボジアのお正月を行い、「Num An Sorm」というカンボジアの伝統的なお菓子を世界で一番大きくつくって、Guinness World Record に記録しました。もう一つは2,015人のカンボジア人がMadison をおどることも記録しました。

今、有明高専で建築を勉強しています。日本語がまだ上手ではないし、専門科目も難しいです。でも、友達の皆と先生方はやさしく、親切です。皆が頑張ることを見ると、私も頑張らないといけないです。これからよろしくお願いします。

留学生歓迎会

4月27日(月)　国際交流委員 E科 河野 晋

平成27年度留学生歓迎会が、4月27日（月）の放課後に修己館で開かれました。今年度は外国人留学生として、物質工学科3年にイランからアシカン君、建築学科3年にカンボジアからラダ君が編入学し、有明高専の仲間入りをしました。歓迎会には、同級生をはじめとするたくさんの学生、在校留学生、担任の先生や教職員が参加しました。

はじめに福島校長先生から歓迎のあいさつがあり、その後、アシカン君とラダ君からのスピーチがありました。二人とも上手な日本語で、母国の地理・料理・文化などをプロジェクターを使って紹介してくれました。

吉田学生主事による乾杯後、歓談がスタートしました。歓談では、アシカン君、ラダ君と自由におしゃべりを楽しむことができ、大変盛り上がりました。その後、吹奏楽部から演奏のプレゼント、学生会長5M今村君から歓迎スピーチ、氷室教務主事から歓迎のスピーチがあり、最後に参加者全員で集合写真をとり、会は盛況のうちにお開きとなりました。

アシカン君とラダ君には有明高専での学生生活を楽しく充実したものにしてほしいと思います。

新任教職員紹介

本校に着任された12名の教職員の方々に、次の4つの質問に答えていただきました。

Q1 本校に来る前は？　Q2 高専あるいは本校学生の印象は？
Q3 趣味は？　Q4 抱負を一言

坂本 武司　機械工学科　講師

A1 熊本大学工学部で技術職員をしていました。
A2 私が学生だった頃と比べて、校舎はかなりきれいになったと思います。学生は全体的に大人しい印象を受けていましたが、熱い気持ちを持った学生が多数いることがわかり、嬉しく思っています。
A3 趣味は日曜大工です。自宅に自分の作業場を持っていて、家具などを製作しています。
A4 学生が高専生として過ごす貴重な時間を少しでも充実したものにできるよう、日々精進していきたいと思います。

近藤 恵美　建築学科　助教

A1 豊橋技術科学大学　建築・都市システム学系で助教をしていました。
A2 緑が多く、鶯の声が印象的でした。また穏やかな学生が多く、落ち着いて物事に当たっている印象があります。
A3 趣味を作らなくてはと思いますが、まだ時間を楽しむことができません。球技系のスポーツは好きでよく汗をかいていましたが、最近はアキレス腱が心配で控えています。時間を作って、また何かを始めたいです。
A4 九州・有明に着任できた縁を大切に、学生と共に成長していきたいと思っています。スロースターターですが、どうぞよろしくお願いいたします。

田端 亮　一般教育科　助教

A1 広島大学大学院生で数学を専攻しながら、他大学で非常勤講師をしていました。
A2 率直で自立した面があり、表情が豊かな学生が多いという印象です。静かな学級もありますが、学生との綱引きのような授業になることもあります。
A3 ギターを弾いたり歌うことをしていました。最近は観るだけですが、スポーツも好きです。
A4 たくさんのことを学ばせていただきながら、自分自身にできることを見つけていきたいと思っています。初めてここに来たときの気持ちと謙虚さを忘れず、有明高専の一員として頑張っていきます。

守田 浩明　総務課（施設係）

A1 九州大学施設部環境整備課で工事の発注業務や施工管理を主に行っていました。
A2 学生のあいさつがいろんな所から聞こえてきて、とても明るい印象です。校舎の配置も分かりやすくて、新鮮な気持ちで仕事ができています。
A3 読書や音楽鑑賞です。たまに映画も見ます。
A4 自分ができることはまだまだ少ないですが、皆さんのお役に立てるように一生懸命頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

中野 聖也　総務課（総務係）

A1 遊んでいたはずが、いつのまにかブラックバイトの餌食となっていました。
A2 すごく山の中にある学校で、自転車で登るのはきついなあと。でも、朝から最後の坂で自転車を降りずに粘っている学生の姿を見ると、私も元気が出ます！
A3 ゲームやアニメが好きですが、ロードバイクを購入したばかりなので、とにかく乗り回したいです！
A4 社会人一年目で一人暮らしも一年目なので、新しいことばかりで楽しいです。この楽しい気持ちを忘れず、皆さんの役に立てる事務屋さんになりたいです。

櫻井 雄介　総務課（調達管理係）

A1 九州大学法学部で刑法を学んでおりました。
A2 学生が元気にあいさつをしてくれることがとても印象的です。みなさんいつも大きな声で、こちらも気が引き締まります。
A3 週末はバイクでのツーリングに出かけることが多いです。また、人に言えるほどではありませんが囲碁をやっております。
A4 一日も早く仕事に慣れて、有明高専と学生の皆さんのため頑張っていきます。

藤木 政信　総務課　事務補佐員（施設係）

A1 平成25年3月熊本大学を定年退職し、同年4月より九州大学施設部の専門員として2年間在籍しておりました。
A2 元気のよい素直そうな若者がたくさんいて賑やかであり、こちらのほうも若返るようです。
A3 バードウォッチングしながらの散歩です。
A4 今までの経験を生かし、本校の教育・研究及び学習環境を良好で快適にする手助けができれば幸せです。どうぞよろしくお願いします。

松本 慧子　学生課　主任（教務係）

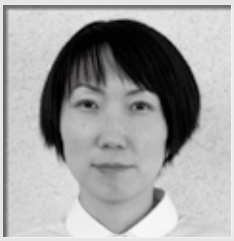
A1 徳島の阿南高専学生課学生係で図書の業務に従事していました。
A2 学校は緑が豊かで、学生は礼儀正しく、元気のいい学生が多いように感じました。
A3 読書、旅行、ヨガです。
A4 図書以外の業務は初めてなので、早く仕事に慣れるよう、また、少しでも有明高専のために役に立てるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

百武 美佐子　学生課　事務補佐員（学生支援係）

A1 金融機関に勤めていました。
A2 とても自然にあふれていて、四季折々の植物がとても心地よく感じます。学生は大きな声でしっかり挨拶されるので、気持ちがいいです。
A3 野菜作りです。今は、ジャガイモ・トマト・キュウリ・しそ・ナスを育てています。
A4 慣れない仕事で大変ですが、一生懸命がんばって行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

芦江 節子　学生課　事務補佐員（寮母）

A1 トマト農園の手伝いをしていました。
A2 素直で気さくな学生が多い中で、たくさんの元気をもらっています。
A3 料理です。自宅で採れた季節の野菜、果物で保存食等作っています。
A4 寮生は、教育寮で自立した生活を送っていますが、家庭的な面も含め、少しでもお役に立てるよう頑張ります。



猿渡 真由　テクノセンター　事務補佐員

A1 ５年間専業主婦で育児に専念、その前は県立高校で講師をしていました。
A2 県立高校と比べると、建物や設備が充実し、規模の違いを実感しました。
A3 旅行が好きで、美味しい食べ物のある場所に行くのが大好きです。スポーツすることも好きですが、現在は子供のラグビー応援を楽しんでいます。
A4 1日でも早く皆様のお役にたてるように努力します。

河村 勇　研究コーディネーター

A1 昨年まで、三井化学㈱大阪工場に勤務しておりまして、定年退職と同時に大牟田市に戻ってきました。
A2 平均年齢の高い職場に長年いたせいか、若くて活発な皆さんを見ているとこちらも若返りそうです。また、大きな声で元気なあいさつをしていただき、とても気持ちがいいですね！
A3 1年半前から、毎日1万歩ウォーキングを継続中です。また、わんこ隊との散歩を楽しみにしています。
A4 週に数時間程度の勤務で微力ですが、有明高専の先生方の研究が有明広域産業に貢献できるように産学連携のコーディネーターとして全力投球したいと思いますので、よろしくご協力の程お願いします。

人事交流教員紹介

今年度、人事交流教員として、他高専から本校に着任された南山先生と桐本先生に、次の4つの質問に答えていただきました。Q1 ～Q4 は前項と同様です。

南山 靖博　機械工学科　助教（久留米高専から着任）

A1 久留米高専機械工学科から人事交流で来ました。久留米高専ではロボコン部代表顧問とサッカー部の顧問をしていました。
A2 学科事務の方が居て、学内郵便や学科のメールボックスなどと事務が充実していると思いました。また、無線LANの設備や電子掲示板の導入などと、久留米高専より遥かに進んでいると感じました。
A3 サイクリングが好きで、最近では子供を抱っこ紐で抱えて色々な公園に自転車で出かけています。他に、久留米高専では昼休憩に体育館へ行き教職員でバドミントンをしています。
A4 久留米高専と有明高専の良い所・悪い所などの違いを伝え、それぞれ良くなるにはどうすればいいかを考え、伝えたいと思います。

桐本 賢太　電子情報工学科　准教授（北九州高専から着任）

A1 北九州高専電気電子工学科でデジタル回路や情報処理（プログラミング）の授業を行っていました。卒業研究ではセンサーネットワークの構築方法について考えてきました。
A2 部活動や勉強、趣味に打ち込んでいる学生、才能の豊かな学生に刺激を受けます。北九州高専に比べて寮生が多く、寮生の力を感じます。
A3 特に無いですが、学校の周辺には山や海、温泉などの名所があり、それらを多く巡りたいと考えています。またキャンパス内にも立派な花や木があり、それらを楽しみたいです。
A4 部活動や授業を通じて、学生の皆さんとの交流を深めたいです。剣道部の顧問をやらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

特集 学生の活躍

コンクール等での入賞をはじめ、幅広く活躍している本校学生に各活動を紹介していただきました。

第10回佐賀ビジネスプランコンテスト金賞受賞

4I 中尾 七海・加藤 千佳・竹下 咲紀

私たちは、平成27年1月24日(土)に佐賀大学で行われた「第10回佐賀ビジネスプランコンテスト」に応募し、金賞を受賞しました。このコンテストでは、新しい事業化計画を提案し、新規性や実現可能性などの審査が行われました。今回応募した事業化計画は「B-Wacth～新しい野球観戦を貴方に～」という"AR"という技術を活用した野球観戦を対象としたアプリの提案でした。球場でグラウンドにスマホをかざすことで画面に選手の情報が表示される機能やスコアボードをデジタル化できるサービスとなっています。高校野球部マネージャーの経験や自ら野球ファンとしての視点を取り入れたことによって利用者により親身となったサービスを行える点やプレゼンテーションが素晴らしいという点でお褒めの言葉をいただきました。

今後は、アプリを実現できるようにプログラミングなどの専門知識をさらに身につけるため勉強を、頑張っていこうと思います。

左から 中尾さん、竹下さん、加藤さん

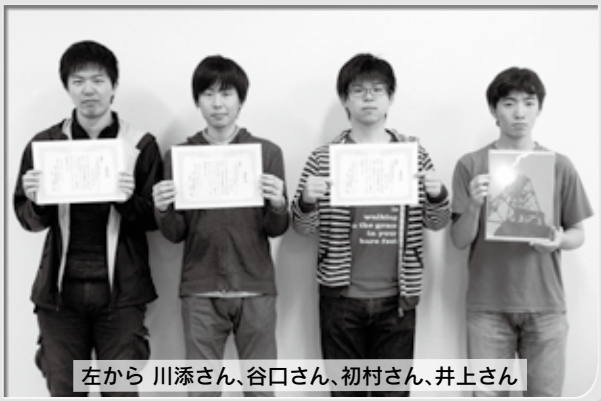
第10回佐賀ビジネスプランコンテスト銀賞受賞

5I 谷口 幹・6I 川添 浩太朗
5I 初村 哲士・4I 井上 翔太

第10回佐賀ビジネスプランコンテストに「世界遺産観光支援サービス ～ARで彩る世界遺産～」で参加し、銀賞をいただきました。

今回、自分たちが考えたビジネスプランである世界遺産観光支援サービスでは、スマートフォン向けのアプリケーションを使って荒尾市万田坑の観光を支援します。このアプリケーションには万田坑内の案内機能や海外観光客向けの翻訳機能があります。また、プランの目玉としてAR(拡張現実)を利用しての過去の万田坑の姿を映し出す機能があります。

ビジネスプランコンテストでの受賞だけで満足せずに、自分たちのビジネスプランを現実のものにできるよう頑張ります。そして万田坑と荒尾市の活性化を目指していきます！



左から 川添さん、谷口さん、初村さん、井上さん

日本物理学会Jr.セッションに参加して

4M 山田 安希子

私たち5名（4M山田、光延、4I森本、4C一柳、寺本）は「日本物理学会第11回Jr.セッション」に3つのテーマで応募し、第1次・第2次審査を経て3月に早稲田大学でポスター発表をしてきました。

私の発表した研究は3年生の課題研究として光延君と夏から実施していたもので、題目は「空気抵抗を考慮した空中衝突実験に関する研究および実演装置の製作」でした。ポスター発表は、2時間の発表と質疑応答があり、中には難しい質問もされましたが、うまく答えられたと思います。残念ながら入賞は叶いませんでしたが、他の高専生・高校生の研究も聞けて良い経験になりました。また、自分の興味のあるテーマも分かり、良かったです。共同研究者の光延くんをはじめ、応援していただいた有明高専の先生方に感謝しています。

左：山田さん、右：光延さん

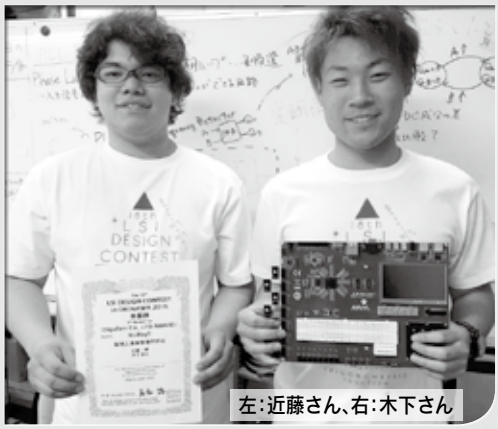
LSIデザインコンテストへの挑戦

71 近藤 一輝

木下椋太君（当時5I）と私は、平成27年3月13日に琉球大学にて開催された「第18回LSI(大規模集積回路)デザインコンテストin沖縄」に参加し、準優勝(Gigafirm Co. LTD AWARD)を果たしました。このコンテストは「三角関数演算ユニットのハードウェア設計」というテーマで、国内やベトナム、インドネシアの大学・高専などから80名が参加しました。

私たちは、昨年9月より2月上旬まで回路設計に取り組み、2月に行われた書類選考を通過することができました。最終選考では、琉球大学にて英語によるプレゼンテーションを行い、成果を発表しました。

私はあと1年専攻科に在学しますので、来年のコンテストにも参加して今回より更に上のレベルを目指して優勝したいと思っています。



左:近藤さん、右:木下さん

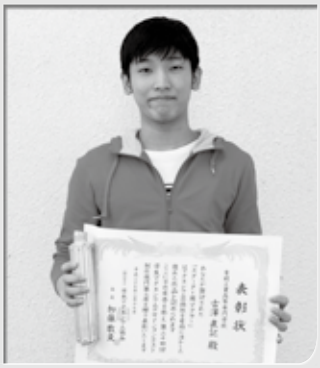
第24回マグネシウムデザインコンテスト製作部門第三席受賞

5M 古澤 直記

第24回マグネシウムデザインコンテスト製作部門に「スクーター用マフラー」を応募し、第三席の受賞と副賞として金一封をいただきました。

このコンテストでは、マグネシウムの特性が活用できているか、独創性の有無、製品化の可能性が重要な審査基準となります。今回応募したスクーター用マフラーは、従来ステンレス材等を使用していましたが、マグネシウム材を使用することによって、軽量化や剛性を高めることができました。私自身はバイクについて知らないことが多かったのですが、マグネシウムで世の中をもっと豊かにしたいという気持ちが、今回の受賞につながったのではないかと感じております。

次回は、未だかつて誰も受賞していない第一席を目指そうと思います。



第51回化学関連支部合同九州大会
第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会　優秀ポスター賞受賞

7C 松藤 貴大

平成26年6月28日（土）、7月26日（土）に行われた第51回化学関連支部合同九州大会および第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会において優秀ポスター賞を受賞しました。大河平研究室の第一期生として、研究室初の名誉ある賞を2度も受賞することができました。

私の研究テーマは、ホウ素除去材料開発のための分子設計指針の確立です。これは、浄水に使われるような膜の表面を分子修飾することにより、水中に極微量に存在するホウ素という元素を除去するための研究です。

これからの目標としては、PCを利用した理論的研究手法である計算化学と、実験的手法を融合することで、より良い除去材料を開発するための分子設計指針を確立させていきたいと思います。

第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会ポスター賞受賞

7C 平山　茜

平成26年7月25日、26日に第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会が宮崎で行われ、研究タイトル「加圧熱水によるリグニン由来化合物の回収」でポスター賞をいただきました。

1日目にあった学生間交流では、大学生と協力して課題を解きながらたくさん交流できました。また、ポスター発表では自分の発表だけでなく大学生の発表も聞けて良い刺激になりました。

さらに、親睦会では大学の先生方にもいろいろな話を伺うことができ貴重な体験となりました。

今後もさらに研究を進め、成果を出していきたいと思います。

4年生 研修旅行

5月12日(火)～15日(金)

企業における理念と、そこから見える特色

4M 村上 琢真

セイコーエプソン㈱
ファナック㈱
花王㈱川崎工場

今回の工場見学は、これまでの見学とは異なり、将来、技術者として働く“人材”として見られているような気がして、少し背筋が伸びるような気持ちで臨みました。

訪問先の企業では、それぞれに特色のある理念がありました。1社目のセイコーエプソンでは、客の常識、期待を超える製品の開発。2社目のファナックでは、あらゆることの自動化の推進と製品の品質を保持・統一するため、国内生産にこだわること。3社目の花王では工場の使命として、首都圏への確実な供給責任の遂行、徹底した効率化生産の追求、家庭用品供給工場としての社会的責任を掲げていました。

社員の方の話を聞いていると、これらの理念が一人ひとりに息づいており、しっかりと意識をして仕事をされていることが伝わってきました。

今回、得られた経験や知識を、今後の就職活動に生かしていきたいと思います。

研修旅行を終えて

4I 吉坂 渉

東芝環境ソリューション㈱
NTTドコモR&Dセンター
ANA機体メンテナンスセンター
NHKスタジオパーク
日本科学未来館

私達、電子情報工学科は研修旅行で3泊4日東京に行った。訪問先の会社の事業は様々で、各々の会社で毎回新鮮な気持ちで見学させていただいた。最先端の技術も目の当たりにした。その技術からは会社の方の熱意や高い志が強く伝わってきた。

私達も最先端をゆく会社に就職するかもしれないとなった時に最初に溢れた感情は不安だった。正直、近未来の社会を担える自信も、社会人としての自覚も今はまだない。しかし、そろそろ自分達も会社にはいってその会社へ貢献するという社会人の意識を持ち始めなければならないと今回の研修で感じた。

これからインターンシップなどの就職にむけた活動が増えてくる。この期間はあっという間に過ぎてゆくと思うから、時間を大切にしながらも、社会人を意識して、納得する進路を決定したいと思う。とても充実した4日間だった。

シンガポール 研修旅行を終えて

4C 田篭 聖夜

今回の研修旅行では、シンガポールに行き、企業見学やナイトクルーズ、ナイトサファリなど様々な体験をしました。その中でも最も心に残ったことはシンガポールポリテクニック校（SP）との交流です。この交流では、一緒にご飯を食べたり、日本にはない遊びをしたりして、シンガポールの文化を学ぶことができました。このことから、英語ができなくてもお互い

空虚の溜息

4E 徳永 希楼

日産自動車㈱横浜工場
㈱東芝浜川崎工場
東京ガス㈱袖ケ浦工場
日本航空㈱羽田整備工場

日に日に大きくなっていく体。僕らはいつか大人になっていかなければならない。時間だけがこの問題を解決してくれるのなら、今、こんな幼稚なことなど考えもしていないだろう。

着慣れていないスーツ、首元を締め付けられる感覚、少しだけ重い左手首。こんなちっぽけな変化にすら心が躍っているのがわかった。

東京と聞いただけで高揚し、無邪気に自由研修の計画を立てた。しかし、田舎育ちの僕がメディアに頼って得た知識のみで日本の中心を知った気になるのはあまりに哀れだった。いつもより小さな空とデコボコのない歩道は息を詰まらせ、明らかに造られた緑と影に塗られたアスファルトは僕の存在の小ささを教えてくれた。夜になっても眠らぬ街とかくれんぼが上手になった星たちを横目に、僕は無力に羊を数えることしかできなかった。

ニューウォータービジターセンター
ウッドランドサニーフーズ社
シンガポールポリテクニック校

に相手を理解しようとする気持ちがあれば、コミュニケーションがとれると分かりました。しかし、それと同時に、もっと英語が話せるようになって交流を深めたいと思うようになり、苦手だった英語に興味を持つようになりました。

これからは、もっと積極的に英語を使ってコミュニケーションの輪を広げていきたいと思いました。

濃密な４日間

4A 関 希望

海遊館、大阪国際平和センター、法隆寺、唐招提寺、東大寺、竹中大工道具館、神戸異人館、人と防災未来センター

私たち建築学科は関西へ行きました。大阪では、水族館や展示施設、高層ビルといった様々な建築物を見学し、用途に合わせた内部空間の工夫や現代建築ならではの多様な形状を見ることができました。一方、京都と奈良では、主に法隆寺や東大寺などの古建築を見学しました。積み重ねてきた年月を物語るように堂々とそびえ立つ伽藍を間近で見て、その壮大なスケールや繊細な装飾の美しさに感動しました。また、授業で学んだものを実際に見ることで理解が深まり、そこから新たな発見も生まれました。神戸の竹中大工道具館では、古建築の複雑な構造を具現した職人の技術や道具を見学し、異なる視点から古建築を捉えることができました。

この4日間で多様な建築物に触れ、多くの刺激を受けました。色々な角度から建築について考えることができた、大変有意義な時間でした。この研修で得たことを今後に生かしていきたいです。

新入生阿蘇研修

5月14日（木）～16日（土）

研修を通して変わることができた自分　1M 新開 大斗

研修に臨む前の自分は、クラスの一部の人としか交流がなく、話したことがない人も多くいました。さらに先輩へのあいさつもせずに普段の生活も少し時間にルーズでした。しかし、今回の阿蘇研修を通して、多くの人と交流ができました。ハイキングやオリエンテーリングを通して、班のみんなと協力し合い、今まで以上に仲を深めることができました。それだけでなく、班行動の重要さを感じることができました。自分一人ではできないことや、お互いに意見が違っても尊重し合い、みんなで考えることが大切だと思いました。ホームルームでは、初めて会話した人が多かったけれど、お互いのことを知り、とても楽しい時間となり、これからもっとみんなのことを知りたいと思いました。自由時間には、他学科の人たちとも話したり遊んだりして、これからの学校生活でも仲良くしたいと思います。さらに他校の人達とすれ違う度にあいさつができたので交流の輪が広がりました。

指導学生の先輩方や先生方にも意識してあいさつができました。これは、今までの自分と比較すると、かなり大きい変化だと思います。学校で先輩方とすれ違ってもあいさつをしていませんでしたが、あいさつは社会に出てからも大切なことであり、人として当たり前のことなので、家族や友人にもきちんとあいさつをしたいと思います。

また、今回の研修では、時間を守ることを特に心がけました。大きな団体で動くため、一人ひとりの行動が大切だと先生がおっしゃる通り、自分でも本当に大切なことだと強く思うことができました。家ではあまり時間を気にせずに過ごしていましたが、研修では時間前行動をしなければならなかったので、今まで以上に時間を大切にしようと思いました。

研修前に立てた「時間を守り、仲間との友好を深める」という目標が達成でき、無事に研修が終われたこと、自分が成長するきっかけとなったことを先生方、指導学生の先輩方、友達に感謝して、今後の学校生活に生かしていきたいです。

阿蘇研修を終えて　1C 櫻木 千華

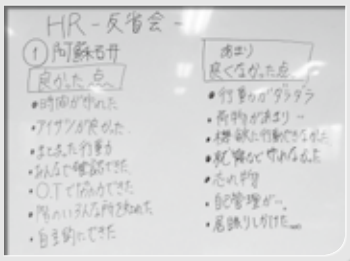
5月14日からの3日間、私たちは阿蘇で多くのことを経験し、学びました。1日目は全体的に自学科の行動が遅く、動きにけじめがついていないと注意され、2日目からはそのことを念頭において行動することができました。しかし、朝の掃除が長引いてしまい、まだ気が緩んでいるとも感じました。また、講話中に寝ている人がいれば近くの人が起こすというような連携、協調性もまだまだ足りないので、個人個人の意識が大事だと思いました。

迎えた2日目のフィールドワークでは、グループごとに懸命に、楽しく活動できた甲斐もあって、学科が1位となり本当に嬉しかったし、気持ちが良かったです。久々にたくさん歩いて筋肉痛になったけれど歩くことがなぜか楽しいと感じられました。クラスの仲も、より一層良くなったと思います。この調子で、まだあまり話したことがない人とも仲良くなり、お互いに注意し合えるようなクラスになれるように努力したいです。

今回の研修では、わかっているつもりだった集団行動、社会のマナーについて再認識することができました。居眠り、忘れ物など、注意していれば防げることは絶対しない、周りと声を掛け合う、周りを気遣う。自分の行動が他人の迷惑になっていないか、今自分は何をすべき時なのかをしっかり考えて次の行動に移ることが大事なのだと痛感しました。

注意されることはたくさんあったので一生忘れることはないと思いますが、その注意されたことをこれから生かしていきます。そして、マナーを守る、きちんとあいさつができる素直な人間になれるよう、心がけていきたいです。

交流の家の方々、当たり前の大切なことをたくさん教えてくださった先生方、先輩方、お忙しい中、指導してくださってとても感謝しています。それに一緒に過ごしたクラスのみんな、ありがとう。これから、感謝の心を常に忘れずに自分を成長させたいです。3日間で学んだことを最大限に活用し、自分を向上させられるよう、本気で頑張ります。



2年生研修旅行

混合学級の２年生は、「教養を高め、社会性を身につける」と「クラスの親睦」を目的に、九州国立博物館とその周辺の見学の研修を行っています。

九州国立博物館（ボランティアから説明を聞いて）

●木材や二重構造を使うことで倉庫内の湿度や温度を一定にし、耐震・免震構造で地震の被害を防いでいた。そのおかげでお寺や神社などから御神体を預けに来ることがあるらしい。1/200の九州国立博物館のジオラマを見ながらの説明で、屋根に取り付けた太陽光パネルで1日に使う電力の1%を担っていることと、館の形状を亀や龍に例える人がいることを聞いた。

●初めて九州国立博物館に行って、建物の大きさに驚きました。ガラスは割れないのかなと思っていたけど、厚みがあって2枚重ねという話を聞いたので、その辺はちゃんとしているなと思いました。中に入って、丸太がたくさんついている天井が目に入りました。それには、柿渋が塗ってあって防虫対策がされているそうです。資料修復の部屋は4つあるそうで、仏像など大きなものの修復の部屋は高さが7mもあると聞いて驚きました。

1組 5/12（火）

2組 4/28（火）

3組 4/22（水）

九州国立博物館（常設展を見学して）

●様々な品物を見たが、やはり「技術」に関することに興味を惹かれた。例えば、貴族や時の有力者が用いた物品などは、材質や加工法などが今見ても美しい。優雅だと感じられる程に優れた技術が感じられた。また、刀や火縄銃などの軍事に用いられていた物も、当時、最高の技術を用いていたのだろう。いつの時代も、人々を発展させるのは技術なのだなと思った。我々もこの技術者のように、“何か”を歴史に残せるような技術力を身につけていきたい。

●歴史的価値ある作品を「守る」「残す」「伝える」ために造られた建物のような気がして驚いた。1つでも作品を残すために建築の隅から隅までこだわったつくりになっていた。人間や機械によって厳しく管理された建物の中で今日も作品が守られていることはとてもいい。昔を再現した「のり」もすばらしかった。昔のものを昔の用法で作り復元していく工程も頭に残る。見る人や作品など建物内のすべてを守るだけでなく、環境など外部にも配慮した設計は将来にも生かせたらと思う。「博物館」とは何か？改めて考えさせられた時間だった。

4組 4/24（金）

5組 5/8（金）

班別見学

【太宰府天満宮宝物殿】菅原道真公ゆかりの品や納め物だけでなく、豊臣秀吉や黒田官兵衛など有名な人物の書状など貴重な品物が多く展示されていた。出口の前には小さなシアターがあり、太宰府天満宮で大切な仕事をしている馬の紹介などを見ることができ、楽しい展示だった。

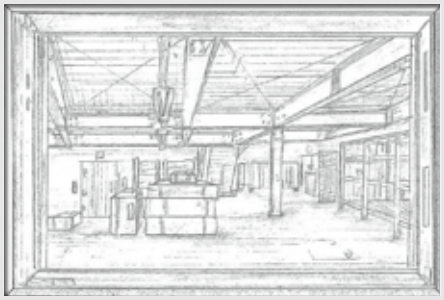
【光明禅寺】参道を天満宮と反対の方向へ行くので、人が少なく、とても静かで落ち着いていた。じゃりで水を表現していて、静かな雰囲気と合わさり、天満宮よりも日本を感じさせる場所だった。ネットで画像検索をすると、紅葉がとてもきれいなので、秋頃にまた行けたらいいなと思った。

【スターバックスコーヒー太宰府天満宮表参道店】ここは斬新な木組みのカフェだった。外から見ると、この木組みが店の内側から外へ貫いているようなデザインで、他のスタバとは全く違うつくりになっていた。店舗内もいたるところで木材が組まれており、木のぬくもりとカフェの心地いい香りがリラックスさせてくれた。照明も木組みと同じ木材で作られていたり、木組みに釘を一本も使用していなかったりと、細部にまでこだわりを感じた。

研修旅行全体の感想

●九州国立博物館では、日本の文化財・国宝が数多く展示されていますが、それらを目にしてみて、日本の文化や歴史を感じました。研修前は、博物館は展示のみの印象だったのですが、実際には研究や修理なども行われていることを知り、博物館の重要性を学びました。また、太宰府天満宮は観光客が多く、日本国内に限らず、海外からも参拝に来るくらい歴史ある所だと改めて思いました。

●研修旅行を通じて、集団行動の重要性を学ぶことができた。大半の人間がモラルやマナーを守っていたとしても、ほんの一部の人間が守っていないだけで周囲の人間、もしくは自分たちに大きな影響を与えるということを改めて実感した。個人的には太宰府は何度も行ったことがあるので、目新しいものは特に無かったが、仲間と行くとまた違った視点から見ることができ、興味深い体験ができたと思う。



岱明寮だより

寮務主事補 竹内 伯夫

寮生指導者研修会

4月5日（日）、銀杏棟研修室において寮生指導者研修会を実施しました。寮生会役員37名および寮務主事室4名が出席し、寮生遵守事項の確認や寮の運営方針等について意見交換を行いました。

入寮式・入寮オリエンテーション

4月7日（火）、第一体育館において入寮式および入寮オリエンテーションが開催されました。1年生73名、4年次編入生5名、留学生2名の合計80名の入寮許可後、福島校長および石丸寮務主事より挨拶がありました。入寮オリエンテーションでは、寮生活に関する説明や寮生会役員の紹介等がありました。

寮生会役員紹介

今年度の重点目標

自我

寮長の5M山田君より
今年度のスローガン
「自我」
が発表されました

新入寮生歓迎夕食会

4月13日（月）、岱明寮食堂において新入寮生歓迎会が行われました。新入寮生の自己紹介の合間に先輩達が余興を披露し、大変盛り上がりました。

寮長による挨拶

1年生による自己紹介

岱明寮防災避難訓練

4月14日（火）、岱明寮において防災避難訓練を実施しました。避難経路の確認の後、大牟田防災工業（株）の職員の方より、消火器の操作方法について説明していただきました。

避難経路の確認

消火器操作説明

新入生歓迎行事

4月17日(金) 学生会長 5M 今村 匠

今年も新入生の登竜門である新入生歓迎行事が4月17日（金）に開催されました。各学科に分かれた後、今年の新入生220名は、在校生の前で元気な声で自己紹介をし、各々趣向を凝らした出し物を披露しました。この行事は新入生にとって学科のカラーや雰囲気を感じたいい機会になったと思います。また、この行事を終えてから徐々にクラスに活気が出てきた頃ではないでしょうか。

新入生のみなさんは、学校や授業にはもう慣れてきましたか？学校生活を送る上でこれからたくさんの喜びが訪れると同じくらいの苦労なども訪れると思います。その際には、横のつながり、縦のつながり、また先生方としっかりつながり、毎日楽しみながら学生生活を送ってください。

今年は2年に1度の体育祭があります。各学科の特徴や個性で、来場者の方々にたくさんの感動を届けられるように、1人ひとりが主役になり、今まで以上の体育祭を学生一丸となって創り上げていきましょう！

A科

C科

M科

E科

I科

防災避難訓練

4月21日(火)

4月21日(火)７限終了後、地震発生、その後の火災発生という想定で、全学生・全教職員がグラウンドへ避難する訓練を実施しました。

全員の避難確認を終えた後、大牟田消防署の署員の方から消火器の取り扱いの説明を受け、各学科に分かれて実際に消火器を使用して消火訓練を行いました。

避難の様子

消火器の操作説明

消火器の操作

授業参観・後援会総会

5月1日(金)

5月1日(金)、５・６限目に授業参観があり、400名程の保護者の方々に来校していただきました。

教室に入りきれずに廊下から授業を参観することになったクラスもありました。

授業参観後、第一体育館で後援会総会があり、その後、クラスごとに担任と保護者との懇談会が行われました。

授業参観（1年生の教室）

授業参観（パソコン演習室）

後援会総会

春季球技大会

5月22日（金）　**4M 西嶋 涼平**

今年の球技大会は天候にも恵まれ各競技で熱戦が繰り広げられました。

高学年は大会当日に向けて、昼休み、休日等に練習をしてきましたが、それ以上に低学年が例年よりも練習を重ねている様子が見られていました。練習の成果が実を結び、当日は低学年が予想より遥かに素晴らしい活躍をし、高学年を倒して勝ち上がりました。そして、ソフトボールでは2-2が数々の優勝候補のクラスを蹴散らして閉会式でトロフィーを授与されました。これは近年まれにみる結果です。

大勢の学生が驚く中、悔しそうにしていたいくつかの高学年クラスは、冬の球技大会での活躍を期待しています。

晴天時競技

最優秀クラス	２－２
優秀クラス	２－５

競　技	優勝チーム	MVP
卓　　球	１Ｍ	坂田　寛樹
女子バレーボール	４Ａ	永尾天十里
男子バレーボール	２－５	柏　　典優
ソフトテニス	教員	塚本　邦重
ソフトボール	２－２	中村　友哉

平成26年度　卒業式・修了式

3月13日（金）

3月13日(金)、第一体育館で第48回卒業式・第13回修了式が挙行され、卒業生197名、修了生18名が本校を巣立っていきました。答辞は、マレーシアからの留学生のズル君が卒業生を代表して行いました。

卒業生・修了生の皆様のこれからのご活躍を期待しています。

卒業生・修了生の進路

機械工学科

旭化成	キヤノン	京セラメディカル	京セラ国分工場
九州三菱電機販売	グローブライド	川崎重工業	神戸製鋼所　高砂製作所
JFEスチール西日本製鉄所	ジャパンマリンユナイテッド有明事業所	セイコーエプソン	竹田設計工業
東海旅客鉄道	東京ガス	東芝　府中事業所	東芝三菱電機産業システム
東燃ゼネラル石油	日本ピラー工業	日立マクセル	TOTO
トヨタプロダクションエンジニアリング	富士重工	フジテック	本田技研工業
マルハニチロ	三松	ヤンマー建機	ライオン
有明高専専攻科	九州工業大学	九州大学	佐賀大学
豊橋技術科学大学			

電気工学科

ANA	NECネッツエスアイエンジニアリング	NHKアイテック	NTTファシリティーズ
衛星都市計画	王子マテリア	関西電力	キヤノン
九州電力	九電ハイテック	自衛隊	シマノ
神鋼テクノ	ダイキン工業	ダイハツ工業	中国電力
中部電力	東芝府中事業所	東レ	トヨタ自動車
トヨタ自動車九州	ニチゾウテック	日東電工尾道事業所	日本電子
NEXCO西日本	パナソニック･アプライアンス社	日立ビルシステム	フジテック
マルハニチロ	三井金属エンジニアリング	三井三池製作所	三松
明治九州工場	矢崎総業	LIXIL	
有明高専専攻科	九州工業大学	熊本大学	佐賀大学

電子情報工学科

NTTドコモ	オムロンフィールドエンジニアリング九州	カシオテクノ	キヤノン
キヤノンマーケティングジャパン	九州電力	九電テクノシステムズ	サッポロビール
第一コンピュータリソース	東京ガス	東芝ITサービス	東芝小向事業所
トヨタプロダクションエンジニアリング	日創プロニティ	日本電子	富士ソフト
富士通マーケティング	富士通九州システムサービス	富士電機	三菱電機システムサービス
明電システムソリューション	メンバーズ	ヤンマー建機	ライオン
有明高専専攻科	九州工業大学	熊本大学	佐賀大学
北九州市立大学	麻生建築＆デザイン専門学校		

物質工学科

旭化成	アドバンテック	エスケー化研	花王
金子金物店	三洋化成工業	昭栄化学工業	昭和電工
大日精化工業	テバ製薬	東燃化学合同会社	ニチノーサービス
日東電工	日本触媒	日本生物製剤	不二製油
三井化学分析センター	ライオン		
有明高専専攻科	九州工業大学	九州大学	佐賀大学
豊橋技術科学大学			

建築学科

アクシス	エスパス建築事務所	NTT ファシリティーズ九州	大林組
福岡市役所	ジーク	ジョンソンコントロールズ	新菱冷熱工業
ダイダン	高砂熱学工業	TAK-QS	鉄建建設
東急建設	東京ガス	西松建設	東九州設計工務
日立ビルシステム	福岡構造	フジタ	松尾建設
三菱化学エンジニアリング	山本設備工業		
有明高専専攻科	大分大学	鹿児島大学	熊本大学
千葉大学			

専攻科

化学物質評価研究機構	木村情報技術	昭栄化学工業	竹中工務店
パナソニックシステムネットワークス	三菱化学エンジニアリング		
九州化学工業	九州大学大学院	佐賀大学大学院	東京工業大学大学院
横浜国立大学大学院			

学生表彰

	成績優秀者	学会表彰者
機械工学科	西村祐太郎	住川 大樹（日本機械学会畠山賞）
電気工学科	山口 全碩	大塚 礼騎（電気学会九州支部長賞）
電子情報工学科	田中　翔	猿渡 稔晃（電子情報通信学会成績優秀賞）
物質工学科	上田 智也	本田 真子（日本化学会九州支部長賞）
建築学科	井上 安南	奥村　葵（日本建築学会九州支部長賞）

トピックス

有明次世代科学クラブ

M科 坪根 弘明

これまで3年間実施した“環境問題の解決を担うエリート科学者養成プログラム『有明次世代科学クラブ』”について、最終年度となる平成26年度も無事に終了することができました。

本プログラムでは、近隣地域の中学1～3年生、本校専攻科生、教育委員会等と協力して、環境問題の解決に関する取組を行ってきました。また、小中学校とも連携して、『子ども環境会議』を3月に開催しました。平成27年度も有明次世代科学クラブを継続して実施する予定です。今年度の活動もご期待ください。

実験の様子

第2回子ども環境会議2015での発表の様子

日本機械学会九州支部 2014年度 支部賞受賞

このたび本校機械工学科が栄えある日本機械学会九州支部 2014年度支部賞に選ばれました。受賞理由は、ロボットJrリーグのロボット製作、荒尾駅前の万田坑モニュメントの設計、水草やのりなどの環境問題の改善、大牟田駅構内のロボ大蛇製作など機械工学科および個々の教員が協力してきた活動が、一般の方々への機械工学の啓蒙に大いに貢献しているということでした。

5E 山田さん特別表彰

5E山田教太さんは、課外活動において顕著な業績を挙げ、国立高専の名誉を高めたことに対し、独立行政法人国立高等専門学校機構理事長から特別表彰されました。

シンガポール交流プログラム

国際交流委員　E科 河野 晋

国際交流プログラムの一環として3月16日（月）～25日（水）の10日間、本校1年生から専攻科生までの学生15名（男子9名、女子6名）と引率教員2名がシンガポールポリテクニック（SP）を訪問しました。SPの学生やSPスタッフが企画してくれたいろいろな行事へ参加しました。これらの行事を通じてシンガポールの習慣・食べ物・建物などの異文化体験をしながら、現地の人々と親密な交流をすることができました。

我々のサポートを親身になってしてくれたSP学生やSPスタッフのおかげで本当に充実した10日間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。参加した学生にとって今回の経験は、これからの自己成長への大きなモチベーションになったことと思います。

編集後記

広報室 鈴木 洋子

満開の桜の下で迎えた新学期から早3ヶ月、季節は初夏となり、高専坂の紫陽花も色づく季節となりました。

この3ヶ月の間、学校では様々な行事が行われてきました。新入生阿蘇オリエンテーションや研修旅行、球技大会など、新しい仲間との濃い時間は充実したものになったと思います。

梅雨が終わるといよいよ夏本番、高専大会や前期末試験などの行事が目白押しです。それらで自分の力を十分に発揮できるよう、体調を万全に整え、日々努力を惜しまず1日1日を過ごしてください。

有明高専だより 第146号
平成27年6月19日
編集：有明高専広報室
発行：有明工業高等専門学校
〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861（学生課）
http://www.ariake-nct.ac.jp/